

I 観 光 動 向

1 概 要

(1) 観光客数

本市の入込観光客数は、平成9年(1997年)には、NHK大河ドラマ「毛利元就」の放映や「グリーンフェスタひろしま'97」などの大型イベントの開催に加え、「原爆ドームの世界文化遺産登録」(平成8年(1996年)12月)による注目の高まりなどにより、初めて1,000万人を突破し、1,023万5千人を記録しました。その後、平成16年(2004年)までは、900万人台で推移していましたが、平成17年(2005年)には、広島県大型観光キャンペーンの実施に伴い、8年ぶりに1,000万人を突破し、1,013万1千人となりました。

平成18年(2006年)には、大都市圏の旅行雑誌社や旅行会社への情報発信事業の開始、原爆ドーム・厳島神社の世界遺産登録10周年事業の実施などにより、過去最高の1,027万7千人となりました。さらに、平成19年(2007年)には、石見銀山の世界遺産登録(7月)により、改めて世界遺産が大きくクローズアップされたことや、継続した情報発信が功を奏し、2年連続で過去最高を更新する1,062万4千人となりました。

平成21年(2009年)には、広島市民球場(マツダスタジアム)のPRや、湯来における交流体験型観光の促進などの事業に取り組みましたが、景気の低迷などによる旅行需要の減少から入込観光客数は対前年比3.7%減の1,004万8千人となりました。

平成22年(2010年)には、高速道路料金の割引制度が定着するとともに、市内高速道路網の整備が進み、さらに、平成21年(2009年)に猛威を振るった新型インフルエンザの流行もなく対前年比5.2%増の1,057万1千人となりました。

平成23年(2011年)には、九州新幹線が全線開通するとともに、山陽自動車道と広島高速のネットワーク化による利便性向上が浸透しました。本市では、ひろしまフラワーフェスティバルなどのイベントの充実、広島・宮島・岩国地域観光圏事業における滞在型観光の促進、「水の都ひろしま」づくりの推進などの事業に取り組み、観光客の増加に努めました。

こうした結果、入込観光客数は、過去最高の1,067万3千人となりました。

(表I-1)

(2) 修学旅行生

修学旅行生数は、平成3年(1991年)までは50万人台で推移していましたが、それ以降、児童・生徒数の減少や修学旅行の多様化などにより減少傾向にあったことから、平成16年度(2004年度)に、修学旅行誘致専任職員を配置し、全国の学校や旅行会社等に対する個別誘致活動を開始しました。こうした取組の結果、それまでの減少傾向に歯止めがかかり、平成20年(2008年)には平成16年(2004年)以降最高となる30万7千人となりました。

平成21年(2009年)には、広島平和文化センターと連携し、「平和学習ワークブック」を作成するとともに、「ひろしま子ども平和議会」を実施しました。こうした取組の結果、新型インフルエンザの影響などはありましたが、前年並みの30万5千人となりました。

平成 23 年（2011 年）は、全国的に少子化が進む中、平成 16 年度（2004 年度）から実施している修学旅行の誘致活動を強化し、全国の学校や旅行会社に対する個別誘致活動などに取り組みました。また、東日本大震災の発生により、修学旅行先が東日本から相次いで本市に変更になりました。

こうした結果、修学旅行生数は、平成 16 年（2004 年）以降で最高となる 32 万 7 千人となりました。

（表 I - 1）

(3) 外国人観光客

外国人観光客数は、平成 10 年（1998 年）以降、新型肺炎（SARS）やイラク戦争の影響等を受けた平成 15 年（2003 年）を除き増加傾向にあり、特に平成 15 年（2003 年）から官民あがての外国人観光客誘致事業であるビジット・ジャパン・キャンペーン（V J C）が開始され、平成 16 年（2004 年）には 20 万人を突破しました。その後も V J C 事業の推進により、連続して過去最高を更新し、平成 19 年（2007 年）には初めて 30 万人を突破しました。しかしながら平成 20 年（2008 年）は世界金融危機による景気後退と円高急進の影響を受けて、米国や韓国等からの観光客が減少したことから、対前年比 0.6%減の 31 万人となりました。

平成 21 年（2009 年）は、V J C 事業として米国・韓国・中国・台湾を対象に、旅行会社への観光説明会や商談会の開催、視察の受入れを行うとともに、I E T F 広島会議の開催等に併せて受入態勢の充実を図るなど、外国人観光客の誘客の促進に努めました。こうした取組の結果、世界的な景気の低迷などはあったものの、対前年比 1.9%減にとどまり、30 万 4 千人と 30 万人台を維持することができました。

平成 22 年（2010 年）は、2 月から 3 月にかけて A P E C（アジア太平洋経済協力）広島高級実務者会合が開催されるとともに、V J C 事業として米国・豪州・韓国・中国・台湾を対象に、旅行会社への観光説明会や商談会の開催、視察の受入れを行うなど、外国人観光客の誘客の促進に努めた結果、過去最高の 33 万 9 千人となりました。

平成 23 年（2011 年）は、インバウンド推進事業として、中国運輸局や広島県と連携し、米国・韓国・中国・台湾等を対象に、旅行業者等へ誘客・P R 活動を展開するなど、外国人観光客の積極的な誘客促進に努めました。

こうした取組にも関わらず、東日本大震災の影響により、外国人観光客は、対前年比 18.3%減の 27 万 7 千人となりました。

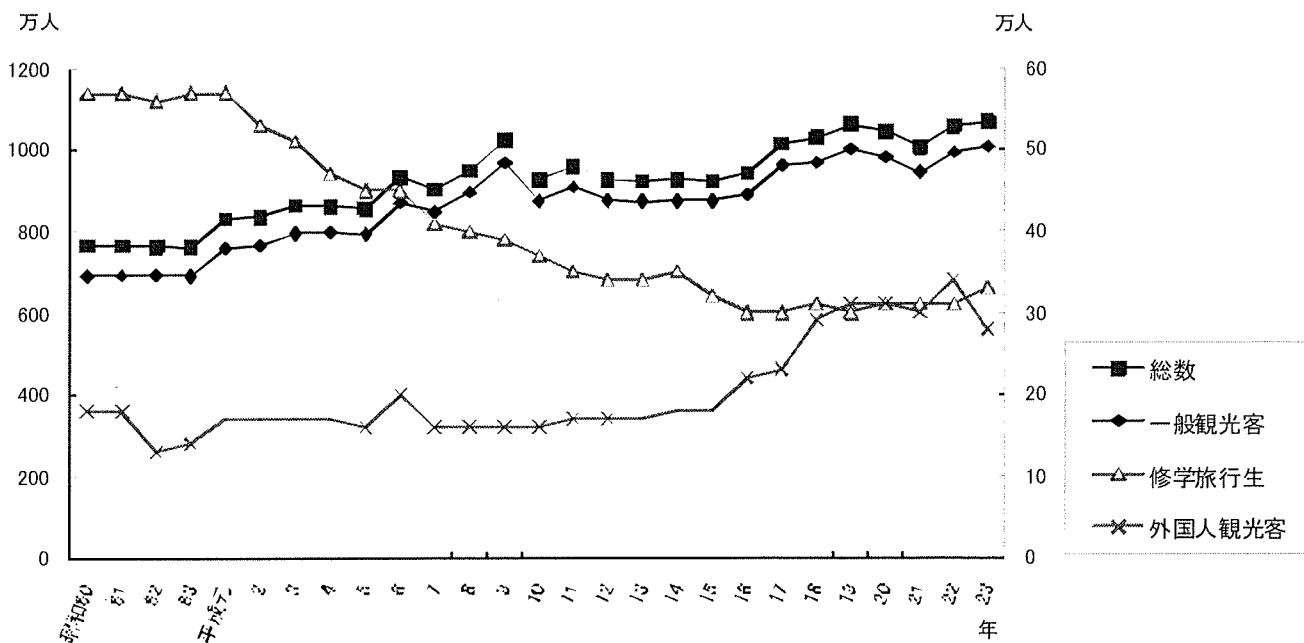
（表 I - 1）

表 I - 1 来広観光客数の推移

単位：千人，%

年	総数		内 訳					
			一般観光客		修学旅行生		外国人観光客	
		前年比		前年比		前年比		前年比
昭和60(1985)	7,645		6,896		566		183	
61(1986)	7,656	100.1	6,914	100.3	566	100.0	176	96.2
62(1987)	7,633	99.7	6,936	100.3	563	99.5	134	76.1
63(1988)	7,602	99.6	6,897	99.4	570	101.2	135	100.7
平成元(1989)	8,306	109.3	7,567	109.7	567	99.5	172	127.4
2(1990)	8,342	100.4	7,648	101.1	528	93.1	166	96.5
3(1991)	8,631	103.5	7,950	103.9	513	97.2	168	101.2
4(1992)	8,613	99.8	7,972	100.3	470	91.6	171	101.8
5(1993)	8,541	99.2	7,934	99.5	451	96.0	156	91.2
6(1994)	9,334	109.3	8,691	109.5	446	98.9	197	126.3
7(1995)	9,034	96.8	8,467	97.4	412	92.4	155	78.7
8(1996)	9,494	105.1	8,940	105.6	399	96.8	155	100.0
9(1997)	10,235	107.8	9,684	108.3	389	97.5	162	104.5
10(1998)	9,259	90.5	8,726	90.1	372	95.6	161	99.4
11(1999)	9,581	103.5	9,065	103.9	349	93.8	167	103.7
12(2000)	9,252	96.6	8,739	96.4	343	98.3	170	101.8
13(2001)	9,233	99.8	8,719	99.8	341	99.4	173	101.8
14(2002)	9,259	100.3	8,730	100.1	346	101.5	183	105.8
15(2003)	9,231	99.7	8,734	100.0	317	91.6	180	98.4
16(2004)	9,406	101.9	8,887	101.8	302	95.3	217	120.6
17(2005)	10,131	107.7	9,599	108.0	301	99.7	231	106.5
18(2006)	10,277	101.4	9,678	100.8	305	101.3	294	127.3
19(2007)	10,624	103.4	10,014	103.5	298	97.7	312	106.1
20(2008)	10,435	98.2	9,818	98.0	307	103.0	310	99.4
21(2009)	10,048	96.3	9,439	96.1	305	99.3	304	98.1
22(2010)	10,571	105.2	9,918	105.1	314	103.0	339	111.5
23(2011)	10,673	101.0	10,069	101.5	327	104.1	277	81.7

図 I - 1 来広観光客数の推移



(4) 居住地別来広観光客

来広観光客は関東・近畿で5割強

平成23年の来広観光客は、居住地別に見ると、関東、山陽、四国、九州・沖縄の割合が増加し、北海道、東北、中部、北陸、近畿の割合は減少している。(表I-2)

表I-2 居住地別来広観光客の推移(外国人観光客を除く)

単位:%

年	北海道	東北	関東	中部	北陸	近畿	山陰	山陽	四国	九州・沖縄	計
19	4.0	3.0	29.7	14.1	2.7	22.0	1.7	7.9	7.2	7.7	100.0
20	4.5	4.3	32.8	12.2	2.5	21.1	1.2	7.5	5.1	8.8	100.0
21	3.0	2.6	32.4	12.5	4.0	22.6	1.2	7.3	5.4	9.0	100.0
22	3.5	3.1	30.4	17.1	4.3	21.8	1.4	6.2	4.0	8.2	100.0
23	1.6	1.9	31.6	16.8	3.0	20.2	1.4	7.7	5.2	10.6	100.0

資料:観光政策部推計

(5) 来広観光客の利用交通機関

利用交通機関はJRが4割以上

平成23年の広島までの利用交通機関を見ると、JR(鉄道)の利用が多く、次いで自家用車となっている。(表I-3)

表I-3 来広観光客の広島への利用交通機関の推移

単位:%

年	JR(鉄道)	自家用車	貸切バス	航空機	船舶	路線バス	その他	計
19	53.3	26.7	6.5	3.3	2.3	5.3	2.6	100.0
20	53.2	26.9	6.9	3.2	1.6	5.6	2.6	100.0
21	52.6	28.2	6.8	2.9	1.5	5.5	2.5	100.0
22	41.5	31.8	6.6	11.8	0.9	4.6	2.8	100.0
23	45.1	28.7	7.4	10.2	0.8	4.8	3.0	100.0

資料:観光政策部推計

(6) 宿泊率と滞在時間

宿泊する人は3分の1

本市での宿泊率は、平成23年は34.1%と前年比0.3%の増となった。(参考:平成22年33.8%)

また、本市に宿泊しない観光客の市内滞在時間は、5時間以内が41.3%から43.0%へと増加傾向、5~10時間が48.6%から48.7%へと横ばい、10時間以上が10.1%から8.2%へと減少傾向となっている。

(表I-4, 表I-5)

表I-4 各都市の宿泊状況(平成23年)

単位:千人、%

項目	広島市	※札幌市	☆仙台市	※名古屋市	岡山市
入込観光客数(A)	10,673	12,165	16,208	33,260	4,104
宿泊客数(B)	3,638	6,112	5,357	5,190	949
宿泊率(B/A)	34.1	50.2	33.1	15.6	23.1

(注) 広島市の宿泊客数は表I-7による。

資料:各都市 ※は年度、☆は総観光客数

表I-5 市内での滞在時間(日帰りの内訳)(平成23年)

単位:%

時間	5時間以内	5~10時間	10時間以上
割合	43.1(41.3)	48.7(48.6)	8.2(10.1)

(注) ()内は前年(平成22年)の数字である。資料:広島市来訪観光客アンケート調査結果

(7) 観光消費額

平成23年の来広観光客の市内での消費額は、対前年比1.1%増の約1,493億円と推計され、1人当たりの平均消費額は、対前年比0.07%増の13,990円となった。(表I-6)

表I-6 来広観光客の市内での消費額

区 分	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
観光消費額	1,569	1,462	1,330	1,477	1,493
(億円) 前年比	109.1	93.2	91.0	111.1	101.1
1人あたり消費額(円)	14,770	14,010	13,230	13,980	13,990

* 内訳：宿泊費3,300円(3,300円) 飲食費3,300円(3,300円) 土産品費等7,390円(7,380円)
(注) ()内は前年(平成22年)の数字である。資料：観光政策部推計

2 宿泊施設の状況

(1) 宿泊施設数

平成23年の宿泊施設数は164軒（対前年比0.6%増）、総定員数は18,047人（同1.7%増）となっており、内訳を見ると、ホテルは68軒で、総定員数の割合は前年の76.4%から76.6%へと増加傾向にあり、旅館は74軒で、総定員数は15.5%で変わらず横ばい傾向にある。（表I-7）

(2) 宿泊数及び稼働率

平成23年の宿泊客数は約363万8千人（対前年6万7千人増）となった。（表I-7）

また、定員数に対する宿泊客数、いわゆる稼働率は、施設全体では57.1%から57.4%へと増となった。施設別では、ホテルは61.3%から61.7%へ、旅館は28.2%から28.9%へ稼働率が上がっている一方で、共済施設は52.6%から50.8%へ稼働率が下がっている。（表I-8）

月別については、施設全体でみると平成23年は8月、11月、10月の順で高い稼働率となっている。また1月は例年同様低い稼働率となっている。（表I-8、図I-2）

表I-7 宿泊施設及び宿泊客数の推移

区 分		平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	構成比
旅 館	施設数（軒）	62	72	73	74	74	45.1
	客室数（室）	1,000	1,225	1,254	1,200	1,226	10.7
	定員数（人）	2,688	2,607	2,727	2,756	2,792	15.5
	宿泊客数（人）	314,924	345,697	385,994	286,916	294,611	8.1
ホ テ ル	施設数（軒）	70	71	69	67	68	41.5
	客室数（室）	9,339	9,517	9,635	9,289	9,545	83.4
	定員数（人）	13,520	13,753	13,850	13,566	13,826	76.6
	宿泊客数（人）	2,968,961	2,969,808	2,831,186	3,035,512	3,114,815	85.6
共 済 施 設	施設数（軒）	14	13	13	12	12	7.3
	客室数（室）	635	605	605	558	578	5.1
	定員数（人）	1,264	1,097	1,097	1,048	1,052	5.8
	宿泊客数（人）	227,406	197,645	190,633	201,142	195,027	5.4
民 宿 ペンション ユース	施設数（軒）	6	12	11	10	10	6.1
	客室数（室）	78	97	92	91	91	0.8
	定員数（人）	311	390	380	377	377	2.1
	宿泊客数（人）	35,432	48,368	46,616	47,670	33,752	0.9
合 計	施設数（軒）	152	168	166	163	164	100.0
	客室数（室）	11,052	11,444	11,586	11,138	11,440	100.0
	定員数（人）	17,783	17,847	18,054	17,747	18,047	100.0
	宿泊客数（人）	3,546,723	3,561,518	3,454,429	3,571,240	3,638,205	100.0

資料：観光政策部（宿泊客数は推計）

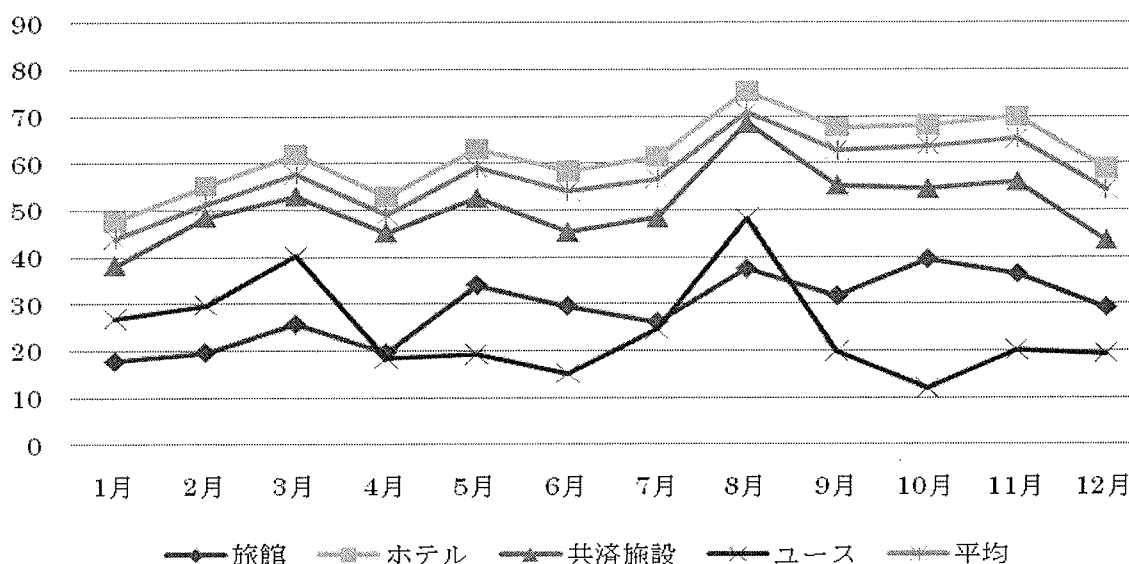
（注1）ホテルとは、政府登録国際観光ホテル、広島シティホテル協会加盟ホテル及び営業許可登録がホテルであるもの等のうち、ホテルに属したほうが適切であると判断した宿泊施設である。旅館とは、日観連、市観連、広島市ホテル旅館組合加盟宿泊施設のうち、上記「ホテル」に属さない宿泊施設である。

表 I - 8 宿泊施設別、月別稼働率（平成 23 年）

単位：%

区 分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年平均
旅 館	17.8	19.7	25.7	19.6	34.0	29.5	26.1	37.4	31.6	39.4	36.3	29.2	28.9
ホ テ ル	47.6	55.3	61.9	52.9	63.1	58.3	61.4	75.3	67.6	68.0	69.9	58.8	61.7
共済施設	38.2	48.5	53.0	45.2	52.6	45.3	48.4	68.5	55.3	54.6	56.1	43.5	50.8
ユース・ ホステル	26.8	29.8	40.2	18.5	19.3	15.2	24.7	48.1	19.9	12.0	20.2	19.4	24.5
平 均	43.9	51.3	57.6	48.9	59.1	54.1	56.7	71.0	62.8	63.7	65.2	54.4	57.4

図 I - 2 宿泊施設別・月別稼働率（平成 23 年構成比）



(3) ユース・ホステルの利用状況

平成23年の広島ユース・ホステルの利用者総数は、前年より2,038人減の9,311人(対前年比82.0%)となった。

内訳で見ると、年齢別では30歳以上が最も多く2,923人(対前年比98.8%)、15~19歳の利用者が次に多く2,830人(対前年比77.5%)だった。

地域別では、日本人は8,260人で185人増加(対前年比102.3%)、外国人は1,051人で2,223人減少(対前年比32.1%)した。(表I-9)

月別の利用率については、夏休み時期の8月(48.1%)と春休み時期の3月(40.2%)が多くなっている。(表I-10)

外国人の利用者の全利用者数に占める割合は、11.3%となっている。(表I-11)

国内の居住地別の利用は、近畿(24.6%)、山陽(広島市除く。)(18.7%)、関東(15.5%)の順に多く、伸び率では近畿が前年より400人増(対前年比124.5%)となった(表I-12)。

国・地域別の構成比が高いのは中国(31.5%)で、人数ではヨーロッパはフランス、イギリス、ドイツ、デンマーク、北米・南米はアメリカ、アジアは中国、韓国が多い。(表I-13)

※当施設は、平成24年4月1日から休館している。

表 I-9 広島ユース・ホステルの利用状況の推移

単位：人

年	総数	利用率 (%)	年 齢 別					地 域 別				外国人
			14歳 以下	15～ 19歳	20～ 24歳	25～ 29歳	30歳 以上	日 本 人				
								中国	近畿	関東	その他	
19	13,627	35.9	1,461	3,966	3,307	1,475	3,418	2,497	1,548	1,701	2,304	5,577
20	14,769	38.8	1,825	4,159	3,697	1,597	3,491	3,177	1,567	1,673	2,175	6,177
21	12,758	33.6	1,483	3,728	3,117	1,473	2,957	2,588	1,394	1,528	2,047	5,201
22	11,349	29.9	1,417	3,653	2,519	802	2,958	2,664	1,632	1,439	2,340	3,274
23	9,311	24.5	1,368	2,830	1,424	766	2,923	2,879	2,032	1,282	2,067	1,051

(注) 利用率は、利用者数÷(ベッド数104×365日)

資料：広島ユース・ホステル

表 I-10 広島ユース・ホステルの月別利用状況 (平成23年)

単位：人

月	総計	利用率 %	性 別		地 域 別				外国人
			男	女	日 本 人				
					中 国	近 畿	関 東	その他	
1	865	26.8	592	273	179	403	134	108	41
2	867	29.8	691	176	169	469	47	82	100
3	1,297	40.2	969	328	398	151	246	293	209
4	576	18.5	392	184	195	90	59	78	154
5	621	19.3	344	277	255	59	77	167	63
6	473	15.2	317	156	229	67	28	62	87
7	797	24.7	408	389	305	177	74	175	66
8	1,550	48.1	845	705	458	228	395	368	101
9	621	19.9	420	201	199	206	81	96	39
10	388	12.0	222	166	84	92	61	88	63
11	631	20.2	393	238	92	30	48	390	71
12	625	19.4	354	271	316	60	32	160	57
合計	9,311	24.5	5,947	3,364	2,879	2,032	1,282	2,067	1,051

(注) 利用率は、利用者総計÷(各月の日数×ベッド数104)

表 I-11 広島ユース・ホステルの国内外の男女別利用状況 (平成23年)

単位：人，%

区 分	日 本 人			外 国 人			総 計
	男	女	小 計	男	女	小 計	
人 数	5,363	2,897	8,260	584	467	1,051	9,311
構 成 比	57.6	31.1	88.7	6.3	5.0	11.3	100
対前年比	105.7	96.5	102.3	37.9	26.9	32.1	82.0

表 I-12 広島ユース・ホステルの居住地別利用状況 (外国人を除く。) (平成23年)

単位：人，%

区 分	北海道	東 北	関 東	中 部	近 畿	山 陰	山 陽 (広島市 を除く)	四 国	九 州 沖 縄	広島市	計
人 数	30	63	1,282	395	2,032	1,075	1,547	617	962	257	8,260
構成比	0.4	0.8	15.5	4.8	24.6	13.0	18.7	7.5	11.6	3.1	100

表 I -13 広島ユース・ホステルの国・地域別外国人の利用状況（平成23年）

単位：人，%

国・地域別		人数	構成比	国・地域別		人数	構成比	
ヨーロッパ	イギリス	33	3.1	南北アメリカ	アメリカ	133	12.7	
	ドイツ	33	3.1		カナダ	17	1.6	
	フランス	44	4.2		ブラジル	18	1.7	
	スペイン	6	0.6		メキシコ	4	0.4	
	ポルトガル	0	0.0		コロンビア	11	1.0	
	スイス	5	0.5		その他	9	0.9	
	イタリア	3	0.3		計	192	18.3	
	スウェーデン	1	0.1		アジア	中国	331	31.5
	オランダ	16	1.5			韓国	83	7.9
	ベルギー	2	0.2			タイ	18	1.7
	アイルランド	3	0.3	インド		9	0.9	
	ロシア	0	0.0	フィリピン		2	0.2	
	ノルウェー	0	0.0	マレーシア		3	0.3	
	ポーランド	2	0.2	シンガポール		0	0.0	
	フィンランド	1	0.1	ミャンマー		8	0.8	
	デンマーク	33	3.1	台湾		13	1.2	
	チェコ	6	0.6	その他		51	4.9	
	その他	8	0.8					
	計	196	18.7					
	アフリカ	南アフリカ	0	0.0				
ガーナ		0	0.0					
その他		7	0.7					
計	7	0.7			518	49.2		
中近東	イスラエル	0	0.0	オセアニア	オーストラリア	128	12.2	
	トルコ	2	0.2		ニュージーランド	6	0.6	
	その他	2	0.2		その他	0	0.0	
	計	4	0.4	計	134	12.7		
計	4	0.4	合計	1,051	100			

3 観光施設等への入館者数

(1) 総括

平成 23 年の主要観光施設への入館者数は、現代美術館をはじめ 6 施設で前年を上回った。

(表 I-14, I-15)

表 I-14 主要観光施設への入館者数の推移

単位：人，%

年	広島平和記念資料館		追悼平和祈念館		広島城		縮景園		ひろしま美術館	
	入館者数	前年比	入館者数	前年比	入館者数	前年比	入館者数	前年比	入館者数	前年比
19	1,319,624	107.2	206,416	99.7	156,073	117.1	170,261	102.2	134,498	66.1
20	1,365,404	103.5	214,989	104.2	185,100	118.6	179,967	105.7	197,852	147.1
21	1,373,956	100.6	211,611	98.4	197,423	106.7	179,495	99.7	109,232	55.2
22	1,375,033	100.1	221,710	104.8	208,805	105.8	181,258	101.0	124,531	114.0
23	1,208,649	87.9	189,965	85.7	199,942	95.8	164,817	90.9	149,473	120.0

年	現代美術館		広島県立美術館		植物公園		安佐動物公園		こども文化科学館	
	入館者数	前年比	入館者数	前年比	入館者数	前年比	入館者数	前年比	入館者数	前年比
19	92,370	73.2	253,289	81.5	188,211	111.1	528,703	112.4	405,170	105.3
20	115,784	125.3	270,678	106.9	201,264	106.9	554,535	104.9	480,461	118.6
21	121,736	105.1	217,572	80.4	218,697	108.7	564,473	101.8	445,116	92.6
22	103,387	84.9	251,418	115.6	211,589	96.7	517,284	91.6	468,934	105.4
23	141,564	136.9	203,245	80.9	199,637	94.4	474,253	91.7	444,642	94.8

年	郷土資料館		ガラスの里		広島市森林公園		江波山気象館		花みどり公園	
	入館者数	前年比	入館者数	前年比	入館者数	前年比	入館者数	前年比	入館者数	前年比
19	24,043	130.6	75,731	100.0	166,986	100.7	72,093	119.1	101,610	101.5
20	37,117	154.4	64,079	84.6	170,298	102.0	67,585	93.7	91,960	90.5
21	31,491	84.8	54,224	84.6	182,011	106.9	57,761	85.5	90,050	97.9
22	28,142	89.4	47,509	87.6	175,719	96.5	58,097	100.6	86,200	95.7
23	26,090	92.7	45,843	96.5	166,673	94.9	62,156	107.0	85,870	99.6

年	マツダ・ミュージアム		交通科学館		頼山陽史跡資料館		マリーナホップ		湯来ロッジ	
	入館者数	前年比	入館者数	前年比	入館者数	前年比	入館者数	前年比	入館者数	前年比
19	69,733	103.9	237,985	120.4	10,639	82.8	2,675,000	94.8	86,295	101.8
20	68,952	98.9	251,616	105.7	10,409	97.8	2,258,000	84.4	24,497	※28.4
21	55,167	80.0	218,319	86.8	9,099	87.4	1,847,070	81.8	45,650	186.3
22	63,573	115.2	206,698	94.7	9,690	106.5	1,744,730	94.5	148,437	325.2
23	60,368	95.0	209,164	101.2	10,383	107.2	1,885,090	108.0	131,848	88.8

クアハウス湯の山		
年	入館者数	前年比
19	68,268	96.6
20	62,829	92.0
21	64,072	102.0
22	59,843	93.4
23	55,313	92.4

※湯来ロッジは平成20年については建替に伴う休業のため1月から3月までの営業

表I-15 主要観光施設の月別入館者数（平成23年）

単位：人

月	平和記念 資料館	追悼平和 祈念館	広島城	縮景園	ひろしま 美術館	現代 美術館	広島県立 美術館
1	45,019	7,999	10,461	7,259	15,247	8,390	88,136
2	49,795	8,265	11,629	19,212	16,983	6,465	8,197
3	77,104	11,446	16,729	19,842	3,207	8,102	8,734
4	73,211	12,440	14,639	21,670	5,111	7,312	2,974
5	160,889	24,722	24,975	16,445	16,629	8,320	11,803
6	104,053	18,546	13,000	11,557	6,774	4,644	9,170
7	81,518	14,517	14,121	6,964	15,928	12,622	9,912
8	172,588	26,497	27,174	10,177	37,802	30,638	12,795
9	98,353	15,196	17,766	11,035	4,929	21,730	12,303
10	154,854	22,813	19,476	13,418	4,558	19,104	18,294
11	137,579	19,455	19,344	20,538	14,078	8,270	13,865
12	53,686	8,069	10,628	6,700	8,227	5,967	7,062
合計	1,208,649	189,965	199,942	164,817	149,473	141,564	203,245

月	植物公園	安佐 動物公園	こども 文化科学館	郷土 資料館	ガラスの里	広島市 森林公園	江波山 気象館
1	3,407	13,758	26,313	1,007	2,104	4,639	2,170
2	19,058	19,406	21,861	704	2,439	5,731	7,787
3	8,652	37,516	27,944	804	2,929	9,154	3,340
4	33,840	67,931	30,317	817	3,781	25,535	3,965
5	27,643	78,635	32,357	807	6,450	21,480	5,113
6	7,554	23,792	39,008	873	4,867	7,795	2,711
7	11,604	18,006	62,010	1,695	3,444	12,744	4,267
8	17,737	53,927	72,869	4,981	6,931	19,656	13,687
9	13,110	46,742	27,511	2,340	3,636	16,176	5,490
10	30,141	64,562	49,227	2,646	3,982	22,982	6,691
11	11,620	38,589	34,982	8,558	3,336	15,221	5,299
12	15,271	11,389	20,243	858	1,944	5,560	1,636
合計	199,637	474,253	444,642	26,090	45,843	166,673	62,156

月	花みどり 公園	マツダ・ ミュージアム	交通 科学館	頼山陽 史跡資料館	マリーナ ホップ	湯来 ロッジ	クアハウス 湯の山
1	3,280	1,339	10,609	376	157,410	11,663	3,175
2	5,180	1,713	17,295	1,339	123,990	10,252	3,329
3	6,510	2,335	18,891	1,505	138,260	11,061	3,937
4	19,620	2,644	16,207	606	169,580	11,399	3,626
5	15,900	6,060	17,690	1,149	185,360	11,850	4,382
6	4,760	4,204	10,638	781	153,040	9,890	4,309
7	4,790	2,111	20,006	795	165,320	11,308	7,876
8	3,780	2,711	31,746	623	148,190	13,105	10,051
9	5,340	9,041	16,130	989	162,540	10,076	4,588
10	5,830	15,959	17,322	775	178,430	11,012	3,916
11	6,590	9,155	23,085	832	157,330	11,678	3,160
12	4,290	3,096	9,545	613	145,640	8,554	2,964
合計	85,870	60,368	209,164	10,383	1,885,090	131,848	55,313

表 I-16 スポーツ観戦入場者数の推移

単位：数、人、位

年	プロ野球公式戦（広島市民球場）			Jリーグ公式戦 （広島ビッグアチ・広島スタジアム）		
	試合数	入場者数	公式戦順位	試合数	入場者数	公式戦順位
19	66	1,051,583	5	21	237,892	16
20	66	1,318,454	4	21	227,631	1(J2)
21	67	1,784,127	5	20	293,968	4
22	68	1,550,367	5	22	288,976	7
23	69	1,543,416	5	17	229,846	7

資料：市民球場管理事務所・サンフレッチェ広島

(2) 広島平和記念資料館の入館者

平成 23 年の広島平和記念資料館の月別入館状況は、平和記念式典のある 8 月（172,588 人）、大型連休のある 5 月（160,889 人）、行楽・修学旅行シーズンの 10 月（154,854 人）、11 月（137,579 人）が特に多くなっている。

また、大人と小人の入館者数の多い月は、大人では 8 月、11 月、5 月の順となっているが、小人では 5 月、10 月、11 月の順となっている。（表 I-17）

表 I-17 広島平和記念資料館月別入館者数（平成 23 年）

単位：人

月	大人	小人		合計		合計 (前年)	前年比
		うち修学旅行等団体	うち外国人				
1	36,747	8,272	3,036	45,019	10,105	49,849	90%
2	43,488	6,307	3,181	49,795	8,359	53,982	92%
3	62,756	14,348	4,150	77,104	8,991	113,278	68%
4	51,012	22,199	15,352	73,211	5,180	106,747	69%
5	79,540	81,349	71,951	160,889	6,840	173,343	93%
6	49,238	54,815	51,347	104,053	6,228	96,313	108%
7	61,502	20,016	10,863	81,518	9,100	93,179	87%
8	129,940	42,648	4,535	172,588	9,185	201,683	86%
9	72,710	25,643	21,182	98,353	8,003	116,310	85%
10	76,374	78,480	73,496	154,854	10,991	167,233	93%
11	80,790	56,789	53,350	137,579	8,422	147,697	93%
12	35,699	17,987	14,967	53,686	7,737	55,419	97%
計	779,796	428,853	327,410	1,208,649	99,141	1,375,033	88%

資料：広島平和記念資料館